AD-6055

電動ストレッチャ スケール（3 級）

取 扱 説 明 書

A&D Medical

1WMPD4003013

1411

ご注意

（1） 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
（2） 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
（3） 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたらご連絡ください。
（4） 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、（3）項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2014 株式会社 エー・アンド・デイ
株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

本書に記載されている商品名及び社名は日本国内または他の国における各社の商標または登録商標です。

注意事項の表記方法

取扱説明書および製品には、誤った取扱いによる事故を未然に防ぐため、次の警告サインと図記号で表示しています。警告サインと図記号の意味は次の通りです。

警告サインの意味

⚠危険	この表記は、無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険が想定される内容を示します。
⚠警告	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
⚠注意	この表記は、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味

	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。 図の中に具体的な注意事項（左図の場合は感電注意）が記されています。
	⃠記号はしてはいけないこと（禁止）を示しています。具体的な禁止内容は、⃠の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「分解禁止」を示します。
	●記号は必ず守っていただきたいこと（強制）を示しています。具体的な強制内容は、 ●の中や近くに文書や絵で示します。左図の場合「守っていただきたいこと」を示します。

その他

お知らせ	機器を操作するのに役立つ情報です。

この他にも、個別の注意事項がそれぞれのページに記載されていますので併せてご参照ください。

使用上（安全および危険防止）の注意事項

電動ストレッチャスケール AD-6055 を正しく、安全にお使いいただくために、以下の注意事項を充分に理解した上で取り扱ってください。
なお、ここに記載されている内容は、機器の安全な取り扱いの他に、操作者および被測定者の安全についての一般的な事柄をまとめたものです。機器特有の注意事項については、以降の本文中に記載しておりますので、ご使用に先立ち取扱説明書をご一読ください。

1. 機器の設置場所および保管場所は、次の点に注意してください。

⚠危険	
	■ 可燃性の高い麻酔薬あるいは引火性ガスの発生する場所、および高圧酸素室、酸素テント内に本器を持ち込んで使用しないでください。引火爆発の原因になります。 ■ 必ずブレーキペダルを操作して、キャスタが固定されることを確認してください。

⚠注意	
	下記の使用環境、保管場所でご使用ください。 ■ 水のかからない場所。 ■ 高温、多湿にならない場所、直射日光の当たらない場所、ほこりの少ない場所、および塩分、イオウ分などを含んだ空気にさらされない場所。 ■ 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）などのない安定した場所。 ■ 本器および測定者、被測定者の重さに耐えうる場所。 ■ 暖房器具から離れた、または空調機の風が直接当たらない場所。 ■ 化学薬品が保管されていたり、ガスが発生しない場所。 ■ 設置：温度+5 ℃ ～ +35 ℃、湿度 85 %RH 以下（結露なきこと）の場所。 ■ 保管：温度-10 ℃ ～ +60 ℃ の場所。 ■ 機器の電源（周波数、電圧、電流）に十分対応できるコンセントが用意された場所。 ■ 本器の取扱方法を熟知していない人や子供が触れない場所。
	製品の設置・移動時は、下記に注意してください。 ■ 屋外や平坦でない床面ではキャスタを使用して移動しないでください。故障の原因になります。移動の際は屋内の平坦な床面でのみキャスタを使用してください。 ■ 移動中に本体のまわりに人や物がないことを確認してください。 ■ 移動中に本体を壁や物などにぶつけないようにしてください。故障の原因となります。 ■ 乱暴に取り扱わないでください。故障の原因となります。 ■ 本器を移動するときは、電源ケーブルを本体より取り外してから移動してください。 ■ 移動前にキャスタがスムーズに動くことを確認してください。
	■ 設置、移動時に手や足をはさまないように注意してください。

2. 機器を使用する前に次の点を確認してください。

⚠警告	
	■ 電源電圧は必ず交流 100V でご使用ください。火災や感電の原因になります。

⚠注意	
❗	■ 機器が安全かつ正確に動作すること。 ■ すべてのケーブルが正しくかつ完全に接続されていること。 ■ 他の医療用テレメータとの相互干渉に注意して問題がないことを確認すること。 ■ 付属されている専用の電源ケーブルを使用すること。 ■ バッテリを使用する場合は、充電状態や劣化を確認すること。 ■ 安全に正しく使用するために始業前点検を必ず行うこと。 ■ 機器に結露がある場合は、十分に乾燥してから電源を入れること。 ■ 取引や証明に使用される場合、製品の使用可能区域を本器に添付された重力加速度の範囲と本紙の「12. **地域別重力加速度一覧**」からご確認ください。 ■ 「ひょう量」「最小測定量」は定格銘板または本体の表示部をご確認ください。 ■ リモコンの上昇スイッチ、下降スイッチに連動して担架部が可動することを確認してください。 ■ 全てのケーブルやチューブ類などが、担架部下の可動部に挟まれていないことを確認してください。
⃠	■ 本器は人の体重を測定することを目的としています。 体重測定、BMI 測定以外の目的で使用しないでください。 ■ 電源ケーブルの上に重いものをのせたり、本器の下敷きにしないこと。火災・感電の原因になります。 ■ 電源ケーブル、プラグ部が破損している場合は使用しないこと。 感電や絶縁劣化により漏電火災の原因になります。 ■ 弊社指定外のオプション品・消耗品は取り付けないこと。

3. 機器の使用中は次の点に注意してください。

⚠警告	
❗	■ 担架部を下降するときは、必ず担架部と床の間に品物や人がいないことを確認してください。 ■ 人を挟むような狭い場所で担架部を上昇させないでください。 ■ 移動する際は周りに人がいないことを確認してください。 ■ サイドボードに被測定者がよりかかった状態では使用しないでください。 ■ ベット(計量台)の上で立たないでください。 ■ 落下防止のため、移動するときはサイドボードを立ててください。

⚠注意	
❗	■ 機器全般および被測定者に異常のないことを絶えず監視すること。 ■ 長期間被測定者を乗せたままにしないでください。 ■ 機器全般および被測定者に異常が発見された場合には、安全な状態で機器の動作を止める等適切な措置を講ずること。 ■ 測定時は静かにベット(計量台)に乗り、測定が終了するまで体を動かさないこと。 ■ 電動昇降する際は必ずブレーキペダルをロックの状態で行ってください。
⃠	■ 強磁界および強電界中では使用しないこと。 ■ MRI 室に持ち込まないでください。 ■ 温度変化の激しい場所では使用しないこと。測定値に誤差を生じる恐れがあります。 温度差のある場所に移動する場合は、移動後十分時間が経過してからご使用ください。 ■ ボールペンなど尖った物で表示器のスイッチ部を押さないこと。故障の原因になります。

4. 機器の使用後は次の点を確認してください。

⚠注意	
	■ 定められた手順により操作スイッチ等を使用前の状態に戻した後、電源を切ること。 ■ 付属品等は清掃した後、整理し保管すること。 ■ 計量後及び使用後は、ヘッドを空けて、何も乗せないでください。 ■ 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清掃しておくこと。
	■ ケーブル類を取り外すときは、ケーブルを持って引き抜く等無理な力をかけないこと。

5. 機器が異常と思われたときは、次の処置をしてください。

⚠警告	
	■ 測定者および被測定者の安全を確保すること。 ■ 機器の動作を止め、電源ケーブルをコンセントから抜くこと。 ■ 機器に「故障」、「使用禁止」等の表示を行い、速やかに弊社までご連絡ください。 ■ 体重計の校正はお客様では行えません。弊社またはお買い求めの販売店にご相談ください。

6. 保守点検については次の点に注意してください。

⚠警告	
	■ お手入れの際は、感電防止のため、本器の電源ケーブルをコンセントから抜いてください。 ■ しばらく使用しなかった機器を再使用するときは、使用前に必ず機器が正常にかつ安全に動作することを確認すること。 ■ 安全に正しく使用するため、始業前点検、保守点検は必ず行ってください。機器の使用・保守の管理責任は、設置者（施設、学校、病院・診療所）側にあります。始業前点検や保守点検を怠ると事故の原因になります。
	■ 本器の分解、および改造はしないでください。　けが、火災、感電の原因となります。

7. 強い電磁波により誤動作を起こすことがありますので注意してください。

⚠注意	
❗	■ 本器は、JIS C 61000-4-3(電磁両立性)に準拠していますが、周囲に強い電磁波やノイズ等が存在すると、誤動作を起こす恐れがあります。機器の使用中、意図せぬ誤動作が発生した場合は、電磁環境の状況を調査し、必要な対策を実施してください。 次に一般的な原因と対策の一例をあげます。 ■ 携帯電話やマイクロ波治療装置等の近くでの使用 電波によって予期せぬ誤動作をして正確に測定できない恐れがあります。 本器の設置向きを変えてみるか、または下記の対策を実施してください。 □ 医用電気機器の設置してある部屋または建物の中では、携帯電話や小型無線機器等の電源を切るよう指導する。 □ 本器を使用中はマイクロ波治療装置等の使用を控える。 ■ 電源コンセント等を伝わって、他の機器から高周波雑音が入った場合 □ 雑音源を確認し、その経路を雑音除去装置等により対策する。 □ 雑音源が停止できる機器であれば、その使用を止める。 □ 他の電源コンセントから電源を取る。 ■ 静電気の影響があると思われる場合（機器およびその周辺での放電） □ 本器を使用する前に、測定者、被測定者とも十分に放電を行う。 □ 部屋を加湿する。 ■ 落雷等による影響 近くで雷が発生したときは、過大な電圧が機器に誘導されることがあります。このような場合は次の方法で機器を動作させてください。 □ 無停電電源装置（JIS T0601-1 に適合している機種）を使用する。

8. 環境保護

⚠注意	
❗	■ 本器を廃棄するときは、各自治体のリサイクルプランに従い処理してください。 ■ 使用済の乾電池は、地方自治体の指導に従って処分してください。 可燃性として処分すると、乾電池が爆発して火災が起こり、やけどやけがをする恐れがあります。

安全測定のための警告および注意

測定に関する警告および注意事項を記載致します。
測定結果の自己判断、治療は危険です。医師の指導に従ってください。

お知らせ
■ マットの中央部にお乗りください。 ■ 体動(揺らぎ)の大きい被測定者の場合、正しく測定できない場合があります。

開梱

⚠注意

■ 本器は、精密機械ですので丁寧に扱ってください。強い衝撃を与えると故障の原因となります。

お知らせ

■ 本器は、輸送中の損傷を防ぐため特別に設計された梱包箱に入れて出荷されていますが、開梱時には製品が損傷していないかご確認ください。万が一損傷している場合は販売店にご連絡ください。なお、将来本器を輸送する場合に備えて梱包材は保管しておいてください。

ご使用の前に付属品がそろっていること、本体と各付属品に損傷がないことを確認してください。
万一、損傷や内容物に不足がある場合には、お買い求めいただいた販売店または弊社営業所にお問い合わせください。
オプション品は「11. **アクセサリ・オプションリスト**」を参照してください。

本体 …… 1セット
付属品　取扱説明書（本書） …… 1冊
　　製品保証書 …… 1冊

本体

製品保証書

取扱説明書（本書）

目　次

1. はじめに 2

2. 特長 2

3. 検定付き計量器 2

4. 用語と記号の解説 3

5. 仕様 4
   5.1. 構成 4
   5.2. 本体仕様 4
   5.3. 外形寸法 5

6. 各部の名称と機能 6
   6.1. 各部の名称 6
   6.2. リモコン 7
   6.3. バッテリ、配線ユニット 8
   6.4. スイッチ機能 9
   6.5. 表示部の説明 10

7. ご使用の準備 11
   7.1. 電源の準備 11
   7.2. 時計の設定 12
   7.3. 操作方法 14
   7.4. 始業前点検 15

8. 操作方法 16
   8.1. 設置と準備 16
   8.2. 体重をはかる 16
   8.3. BMI を測定する 17
   8.4. 衣服の質量を引いてはかる（プリセット風袋引き計量） 18
   8.5. ファンクション設定 21

9. 通信機能（RS-232C インタフェース） 23

10. 保守 25
   10.1. 保守点検と安全管理 25
   10.2. 清掃 25
   10.3. 定期点検（始業前点検） 25
   10.4. 廃棄 26
   10.5. 修理を依頼される前に 27

11. アクセサリ・オプションリスト 28
   11.1. オプションの取り付け 28

12. 地域別重力加速度一覧 30

13. アフターサービス・保証 31
   13.1. 保証期間 31
   13.2. 免責事項 31
   13.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口 31

1. はじめに

このたびは、エー・アンド・デイの電動ストレッチャスケール AD-6055 をお買い求めいただき誠にありがとうございます。この取扱説明書は、AD-6055 の操作方法ならびに保守、仕様について記述したものです。
本器をご理解いただき、十分にご活用いただくためにご使用前に本書をよくお読みになり、いつでも見られるところに大切に保管してください。

2. 特長

AD-6055 は、病院、健康診断、介護施設など医療介護関係向け体重計です。以下の特長があります。

- 簡単な操作で体重の測定ができます。
- 測定した体重値と入力した身長値から、BMI を計算し、表示することができます。
- 拡張端子による通信出力機能（RS-232C 準拠）があります。

3. 検定付き計量器

AD-6055 は、「取引」または「証明」の計量に使用可能な検定付き計量器です。以下の注意事項を熟読の上で正しくご使用ください。

- **使用地域の制限**

検定付き計量器を「取引」または「証明」に使用する場合、使用できる地域は重力加速度で制限されています。
決められた重力加速度範囲の地域で使用してください。重力加速度範囲は、銘板に記載されています。

※ 使用地域については、「12. **地域別重力加速度一覧**」を参照してください。

- **ひょう量と最小測定量、目量**

「取引」または「証明」の計量に使用する「ひょう量」と「最小測定量」及び「目量」は、銘板および表示部に記載されています。
「取引」とは、計量法の「有償であると無償であるとを問わず、物又は役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。
「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

- **使用温度範囲**

「取引」または「証明」の計量に使用する「使用温度範囲」は、銘板に記載されています。

- **定期検査**

本器を「取引」または「証明」に使用する場合、計量器の器差および性能が一定の基準内に維持されているか、計量法施行令第 11.条により 2 年ごとに定期検査が義務付けられています。
当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県計量検定所にお問合せください。
定期検査を行う際は、表示固定を解除してご使用ください。

※ 表示固定の解除については、「8.5. **ファンクション設定**」を参照してください。

「はかり」は、長期間使用していると精度の狂いを生ずることがあります。
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問合せください。

※ 定期点検については、「10.3. **定期点検（始業前点検）**」を参照してください。

- **校正**

検定付き計量器の校正は、ユーザでは行えません。お買い求めの販売店にご相談ください。

4.　用語と記号の解説

<table>
<tr><th>用　語</th><th>解　説</th></tr>
<tr><td>ひょう量</td><td>本器が計量器として計量可能な最大値です。本器のひょう量は、150 kg です。</td></tr>
<tr><td>目量</td><td>はかりの一目盛り分の値です。本器のデジタル表示では、最小桁の数字が切り替わる値です。
本器の目量は、0.1 kg になります。</td></tr>
<tr><td>総量</td><td>「総量」とは、本器のベット(計量台)に乗っている全てを計量した値です。
また、風袋またはプリセット風袋の値と正味量を足した値を意味します。</td></tr>
<tr><td>正味</td><td>「正味」とは、風袋を含めない計量対象物です。</td></tr>
<tr><td>正味量</td><td>「正味量」とは、風袋を含めない計量対象物の質量です。総量から風袋値を差し引いた値です。</td></tr>
<tr><td>風袋</td><td>「風袋」とは、本器のベット(計量台)に載っていても計量値に含めない物の総称です。</td></tr>
<tr><td>風袋値</td><td>「風袋値」とは、着衣やシーツなどの風袋の計量値に含めない値です。</td></tr>
<tr><td>風袋引き</td><td>「風袋引き」とは、総量から風袋値を差し引いて計量する行為のことです。
また、「正味量」を求める計量行為を意味します。</td></tr>
<tr><td>プリセット風袋引き</td><td>着衣やシーツなど把握している風袋値を事前に入力して、「正味量」を求める計量行為のことです。
本器では「PT」として表示しています。</td></tr>
<tr><td>BMI</td><td>BMI は、Body Mass Index の略で、下式で計算される成人の肥満度の判定指数です。
$$BMI = \frac{体重(kg)}{身長(m) \times 身長(m)}$$
BMI は日本肥満学会肥満症診断基準検討委員会 2000 年度報告により算出しています。
<table>
<tr><th>判定</th><th>BMI</th></tr>
<tr><td>やせ</td><td>18.5 未満</td></tr>
<tr><td>普通</td><td>18.5 ～ 25.0 未満</td></tr>
<tr><td>肥満</td><td>25.0 以上</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

5. 仕様

5.1. 構成

搭載機能	型名 AD-6055
デジタルＬＣＤ表示	○
体重測定	○
風袋引き測定	○
プリセット風袋引き測定	○
BMI 計算、表示	○
印刷	オプション

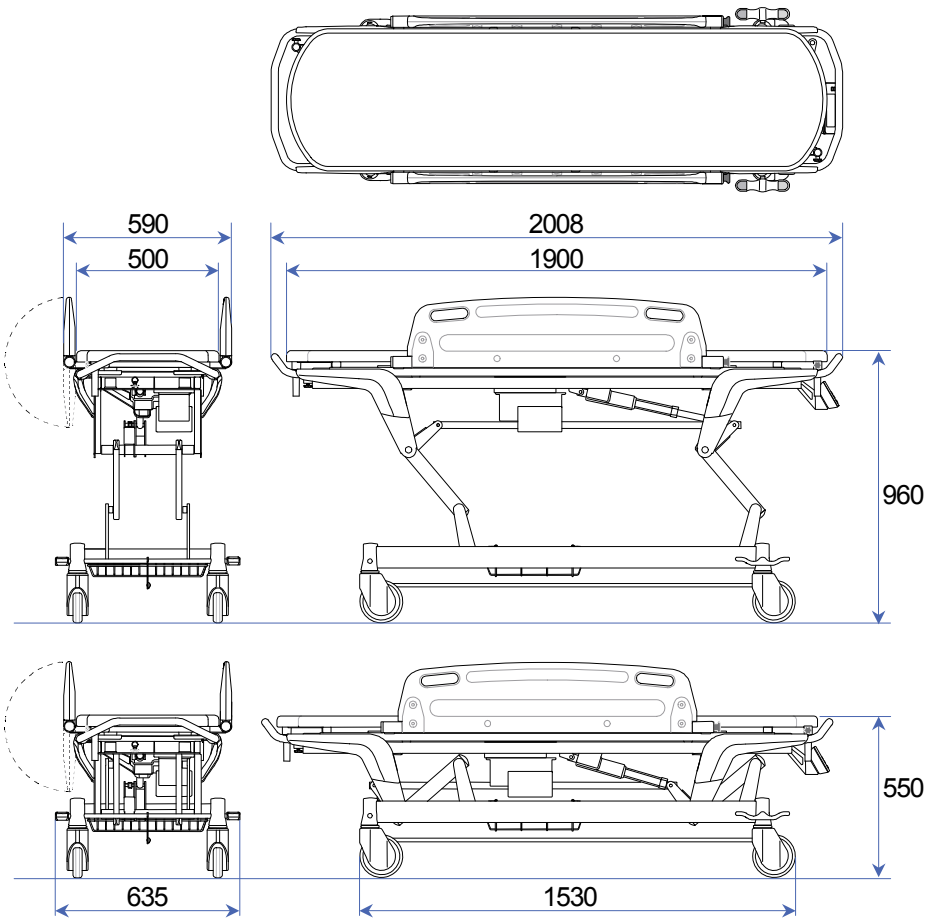
5.2. 本体仕様

項 目	内 容
型名	AD-6055
販売名	電動ストレッチャスケール
精度等級	3級
ひょう量	150 kg
目量	0.1 kg
最小測定量	2 kg
最大減算風袋値	99.9 kg 以下
使用温湿度範囲	温度 +5 ℃ ～ +35 ℃、湿度 85 %RH 以下（結露なきこと）
保管温湿度範囲	温度 -10 ℃ ～ +60 ℃
表示	7 セグメント液晶表示　メイン画面の文字高 23［mm］
電源	交流 100V または 内蔵鉛バッテリ（昇降回数 50 回/ 80 kg 荷重時） 充電寿命　約 400 回（50 % 放電時）　※
ストレッチャ機構	電動アクチュエータ
平均寸法	2008(W)×635(D)×960(H)［mm］(ベッドが高い位置) 2008(W)×635(D)×550(H)［mm］(ベッドが低い位置)
本体質量	約 80 kg
耐用期間	設置後 5 年　弊社データによる自己認証。 （正規の保守点検などの推奨された環境で使用した場合のデータです。 使用状況により差異が生じることがあります。）

※　内蔵鉛バッテリの寿命は、使用方法や周囲の環境や温度により異なります。

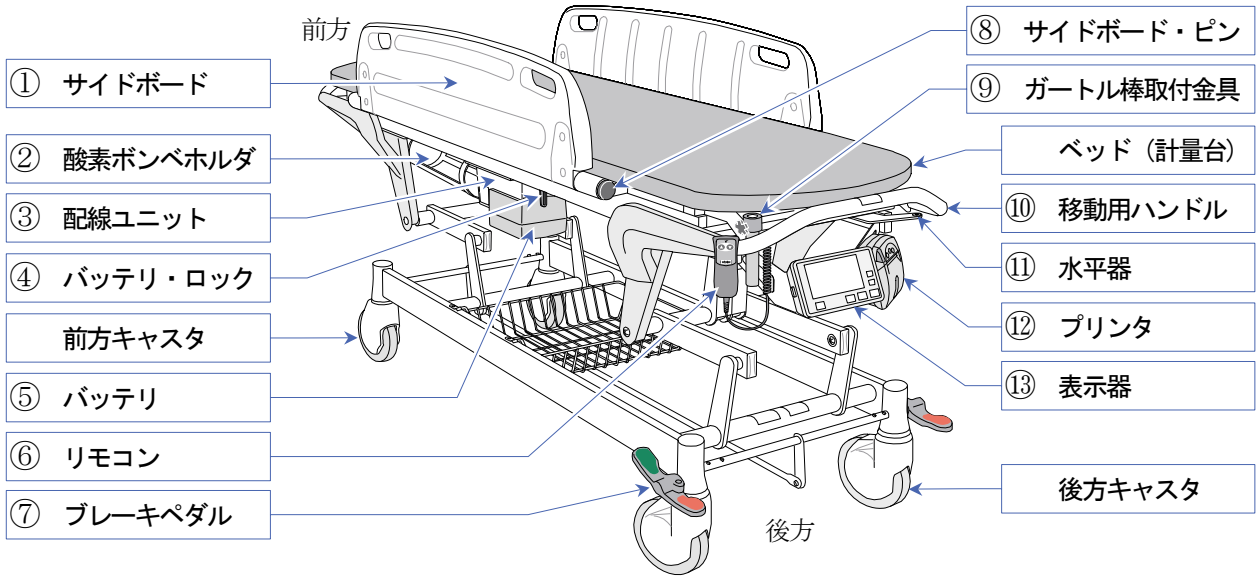
5.3. 外形寸法

単位 mm
数値は平均値
（突起物含まず）



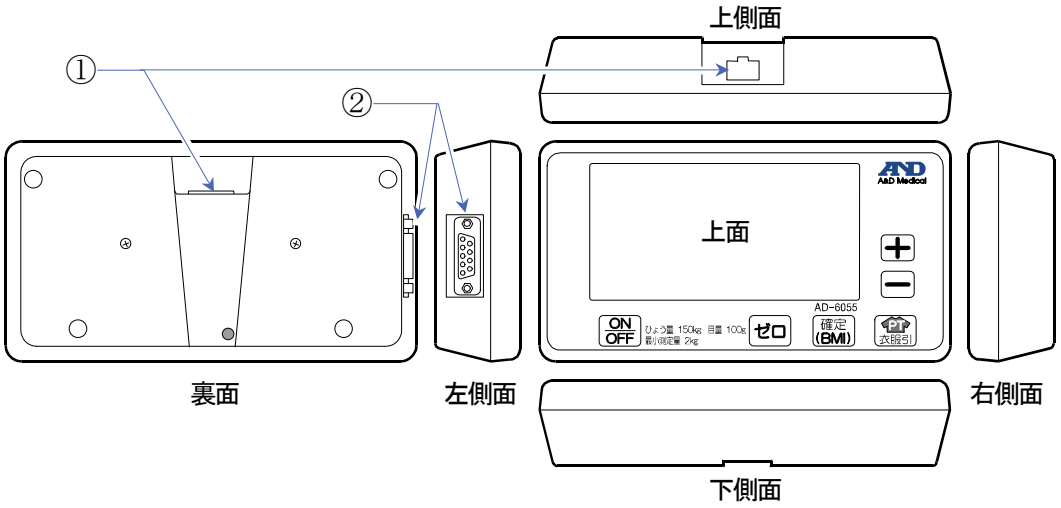
6.　各部の名称と機能

6.1.　各部の名称



番号	名 称	説 明
①	サイドボード	被測定者の落下防止、ベッド(計量台)への移乗に使用できます。
②	酸素ボンベホルダ	オプションの酸素ボンベホルダ AD-6055-01 を取り付けできます。
③	配線ユニット	リモコン、電動アクチュエータ、バッテリ、交流 100V、ユニットAに配線します。
④	バッテリ・ロック	バッテリを固定するつまみです。バッテリの不用意な脱落を防ぎます。
⑤	バッテリ	脱着可能な約 3 kg の鉛バッテリ。オプションの鉛バッテリ AD-6055-02。
⑥	リモコン	ベッドの昇降に使います。バッテリの残量をモニタできます。
⑦	ブレーキペダル	キャスタの「完全に固定」、「前方キャスタ直進」、「四輪フリー」を選択できます。
⑧	サイドボード・ピン	サイドボードを回転させるとき操作します。
⑨	ガートル棒取付金具	オプションのガートル棒 AD-6101-01 を取り付けできます。前方・後方・前方下面３カ所。
⑩	移動用ハンドル	前方と後方にあるストレッチャを移動するときに持つ取っ手です。
⑪	水平器	計量に必要な水平を確かめます。
⑫	プリンタ	オプションのプリンタ AD-PR580。用紙は別売 AX-PP147-S。
⑬	表示器	測定した体重を表示します。使用する設定値を操作できます。

表示器の端子



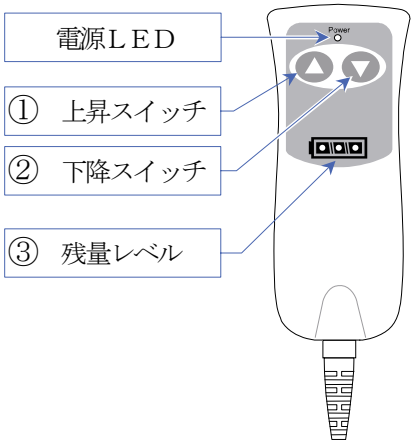
番号	名 称	機 能 説 明
①	内部配線用端子	専用ケーブルを接続します。
②	拡張端子	オプション・プリンタなどに通信ケーブル(D-sub9 ピンコネクタ)で接続できます。

6.2. リモコン

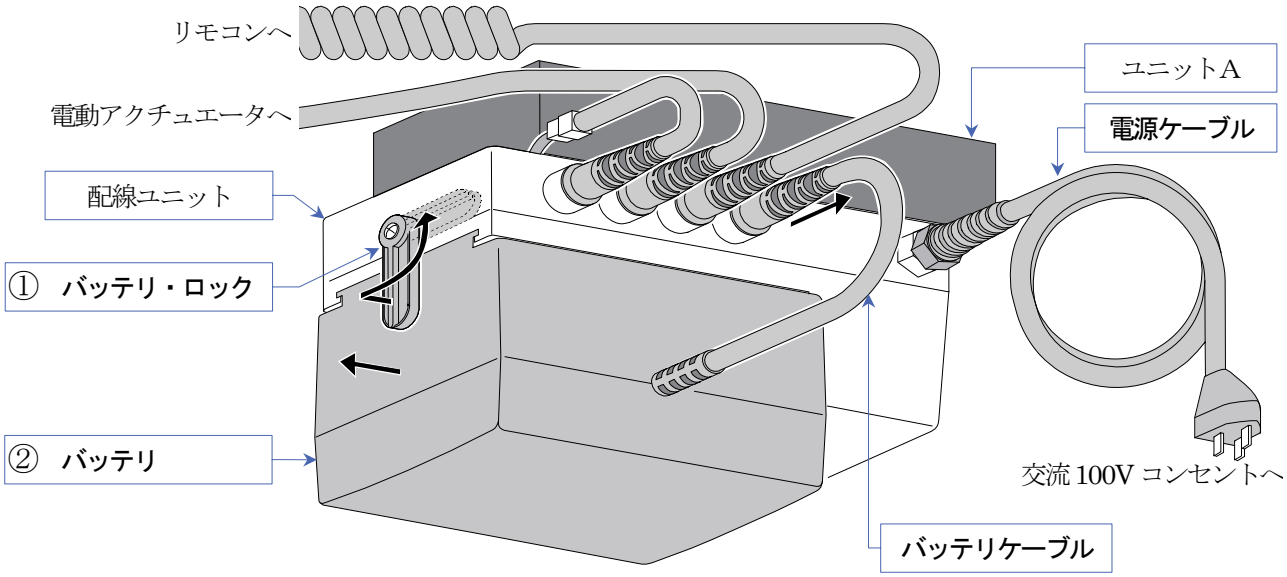
お知らせ

- リモコンの残量レベルの表示が満充電から極端に早く減る場合、バッテリの寿命が考えられます。
  新しいオプションのバッテリ AD6055-02 に交換してください。
- バッテリの寿命は約 400 回(50%放電)ですが、使用環境や使用頻度によって変わります。
  必要に応じて新しいオプションのバッテリ AD6055-02 に交換してください。

番号	名 称	説 明
①	上昇スイッチ	スイッチを押している間ベッドが上昇します。
②	下降スイッチ	スイッチを押している間ベッドが下降します。
③	残量レベル	バッテリ残量に応じて表示が変わります。



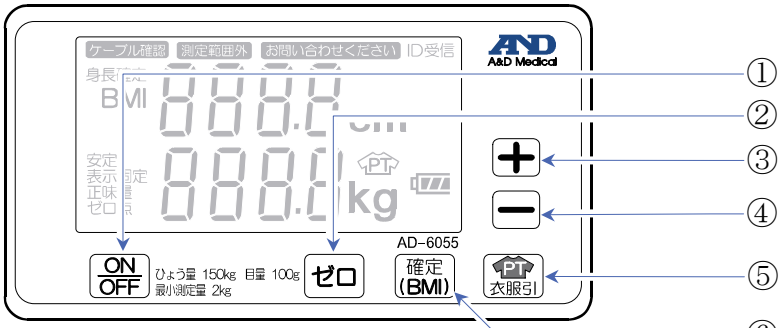
6.3. バッテリ、配線ユニット



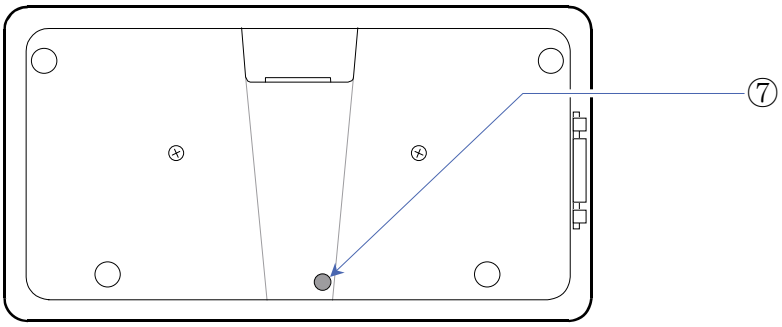
番号	名 称	説 明
①	バッテリ・ロック	バッテリを固定するつまみです。バッテリの不用意な脱落を防ぎます。
②	バッテリ	脱着可能な約 3 kg の鉛バッテリ。オプションの鉛バッテリ AD-6055-02。

6.4.　スイッチ機能

上面



裏面



番号	名 称	機 能 説 明
①	ON/OFF	電源をオンまたは、オフするスイッチ。表示をオフしてから約数十秒間は待機状態です。
②	ゼロ　※1	0.0 kg 表示にするスイッチ。
③	＋	設定値を増加させるスイッチ。
④	－	設定値を減少させるスイッチ。
⑤	PT 衣服引	プリセット風袋引きするスイッチ。事前に衣服の質量を差し引く設定します。
⑥	確定 BMI	BMI を計算し表示するスイッチ。設定値を確定するスイッチ。
⑦	時計　※2	時刻を設定をするスイッチ。先端の尖っていない細い棒で押します。

※1 **ゼロ** スイッチは、自動で **風袋引き** スイッチまたは、**ゼロ点** スイッチに切り替わります。

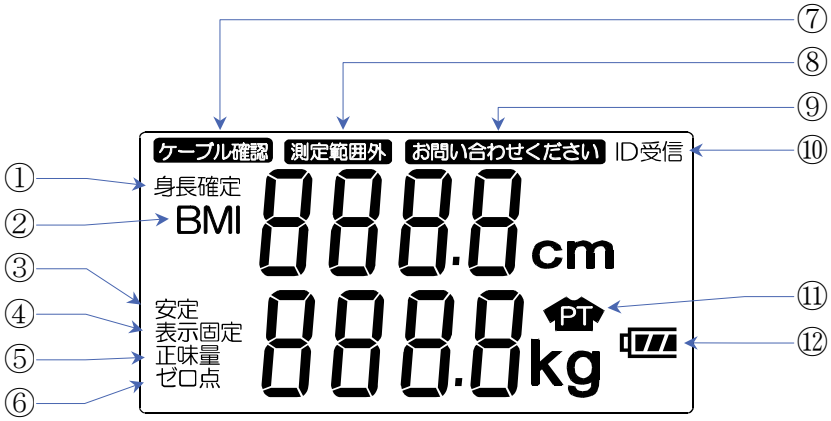
風袋引き スイッチ
乗せているものが 3.0 kg 以上のときは、**風袋引き** スイッチとして機能し、0.0 kg 表示になります。
計量可能な範囲は風袋の質量分小さくなります。　計量可能な範囲 ＝ ひょう量 － 風袋値

ゼロ点 スイッチ
乗せているものが 3.0 kg 以下のときは、**ゼロ点** スイッチとして機能し、0.0 kg 表示になります。
ゼロ点(計量基準点)を更新するので、計量可能な範囲はひょう量と同じです。　計量可能な範囲 ＝ ひょう量

※2 表示器裏面の隠れスイッチです。

6.5.　表示部の説明

メイン画面



番号	名称	表示記号（マーク）の説明
①	身長確定	身長値を確定表示しているとき点灯します。
②	BMI	BMI 測定中に点灯します。
③	安定	体重値が安定すると点灯します。
④	表示固定	安定した体重値を一定時間表示し続けるとき点灯します。
⑤	正味量	風袋引き計量または、衣服引き（プリセット風袋引き）計量をしているとき点灯します。
⑥	ゼロ点	計量値が計量基準点の 0.0 kg のとき点灯します。
⑦	ケーブル確認	本器の専用ケーブルが接続されていない場合や切れている場合に点灯します。
⑧	測定範囲外	計量値が 150.8 kg を超えたときとまたは、−1.9 kg 以下のとき点灯します。
⑨	お問い合わせください	製品の異常（故障）を検知したとき点灯します。
⑩	ID 受信	拡張端子から被測定者 ID が入力されたとき点灯します。
⑪	PT	衣服引き（プリセット風袋引き）計量をしているとき「正味量」マークと共に点灯します。
⑫	※1	電池の残量が少ないとき、マークが点滅表示し、ブザーが鳴ります。

※1　バッテリマークは完全に消耗しているときは表示しません。

7.　ご使用の準備

7.1.　電源の準備

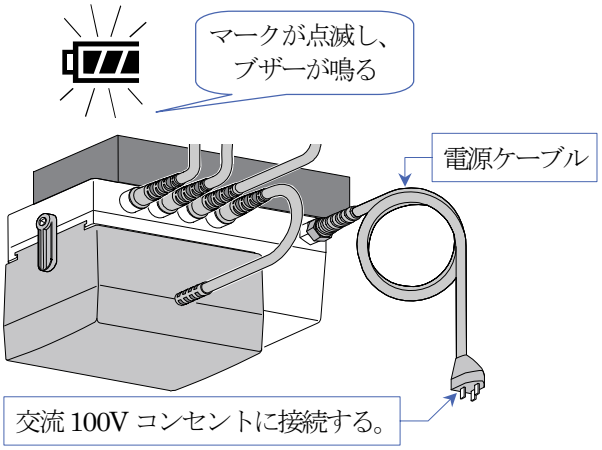
バッテリの充電

⚠注意
■ ご使用にならないときは常に、電源ケーブルをコンセントにつなぎバッテリを充電させてください。 電池の残量が一定以下になりますと、ご使用ができなくなります。 ■ 常に充電ができない状態で、１ヶ月以上長期間保存する場合は、バッテリを外してください。 外したバッテリを月に一度充電してください。

お知らせ
■ バッテリは完全に放電してから充電を繰り返すと、寿命が短くなります。 ■ リモコンの残量レベルの表示が満充電から極端に早く減る場合、バッテリの寿命が考えられます。 新しいオプションのバッテリ AD6055-02 に交換してください。 ■ バッテリの寿命は約 400 回(50%放電)ですが、使用環境や使用頻度によって変わります。 必要に応じて新しいオプションのバッテリ AD6055-02 に交換してください。

手順

1. 昇降中や計量中に表示器のバッテリマークが点滅してブザーが鳴るときは、充電が必要です。すぐに充電してください。
2. 充電を開始するには、電源ケーブルを交流 100V コンセントに接続します。
3. 約８時間充電します。



7.2. 時計の設定

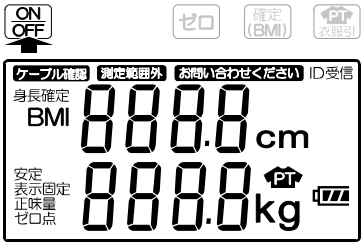
お知らせ

- 表示をオフにして 1 分間以上経過した場合、もう一度 ON/OFF スイッチを押して電源をオンしてから表示をオフにしてください。
- 時計の設定中に ON/OFF スイッチを押すと、時計は更新されません。
- 西暦の設定範囲は、2099 年までです。
- 時計の時刻は、24 時間制です(閏年対応)。
- 時計の日付・時刻データは、リチウム電池でバックアップされています。
- 電源がオンの状態(計量表示している状態)で隠れスイッチを押すと、現在の時刻を確認表示できます。

日付・時刻の設定方法です。
設定した日付・時刻は、拡張端子により測定データと共に出力され、オプション・プリンタに印字できます。

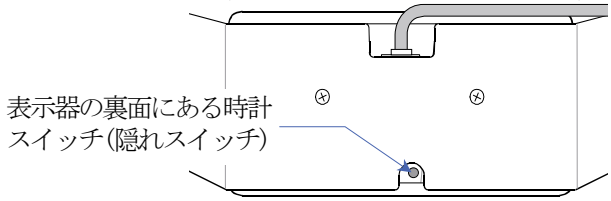
手順

1. ON/OFF スイッチを押して、表示を全点灯させます。
(電源をオンします。)

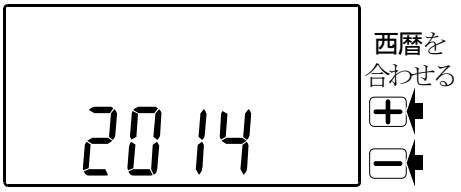


2. 再度 ON/OFF スイッチを押して、表示をオフします。

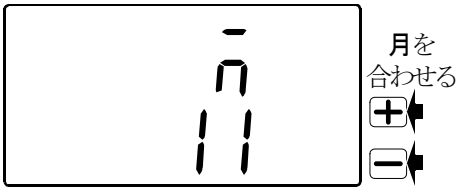
3. すぐに 表示器の裏面にある時計スイッチ(隠れスイッチ)を、先端の尖っていない細い棒で 3 秒間以上押してください。



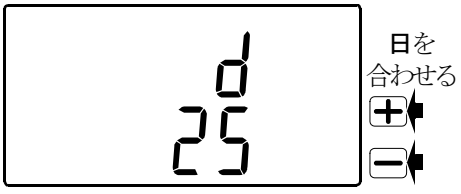
4. 画面に**西暦**が点滅表示します。
＋ スイッチと － スイッチで**西暦**を合わせてください。
表示例： 2014 年。



5. ゼロ スイッチを押すと**西暦**が設定され、**月**が点滅表示します。
＋ スイッチと － スイッチで**月**を合わせてください。
表示例： 11 月。



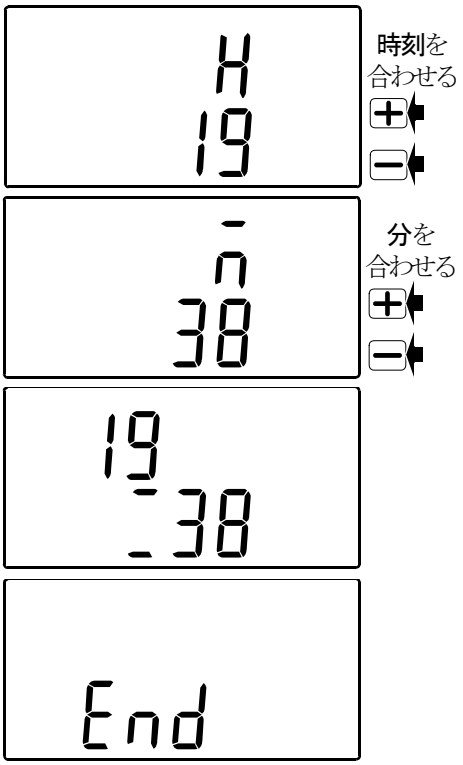
6. ゼロ スイッチを押すと**月**が設定され、**日**が点滅表示します。
＋ スイッチと － スイッチで**日**を合わせてください。
表示例： 25 日。



7. ゼロ スイッチを押すと**日**が設定され、24 時間表示の**時刻**が点滅表示します。＋ スイッチと － スイッチで**時刻**を合わせてください。
表示例： 時刻 19 時。

8. ゼロ スイッチを押すと**時刻**が設定され、**分**が点滅表示します。
＋ スイッチと － スイッチで**分**を合わせてください。
表示例： 38 分。

9. ゼロ スイッチを押すと**分**が設定され、**時**:**分**が表示されます。
その後、End が表示され設定完了になります。
表示例： 時刻 19:38 。



7.3.　操作方法

ブレーキペダルの使い方

⚠注意

- 停車中は、必ずブレーキペダルを使ってキャスタを固定してください。
- ブレーキペダルを乱暴に蹴ったり、踏みつけたりすると、故障の原因になります。
- 移乗の際は、緑ラベルを下げて必ず「**前輪キャスタを直進**」にしてください。
- 走行中は、赤ラベルを下げてないでください。キャスタが故障する原因になります。
- ブレーキペダルを操作する時はラベルの上にしっかりと足を乗せてゆっくり押してください。

四輪を完全に固定する

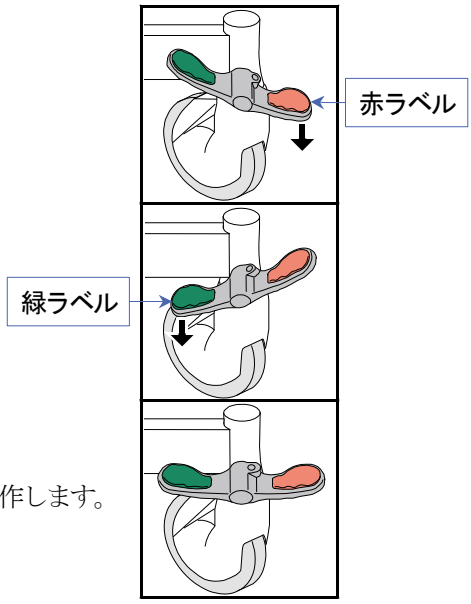
1. ブレーキペダルの赤ラベルが下になるように、足で操作します。
2. キャスタが完全に固定されていることを確認します。

前輪キャスタを直進、後輪をフリーにする

1. ブレーキペダルの緑ラベルが下になるように、足で操作します。
2. 前輪キャスタのみ直進することを確認します。

四輪をフリーにする

1. ブレーキペダルの赤ラベルと緑ラベルが同じ高さになるように、足で操作します。
2. キャスタすべてが自由に動くこと確認します。



昇降機の使い方

⚠警告

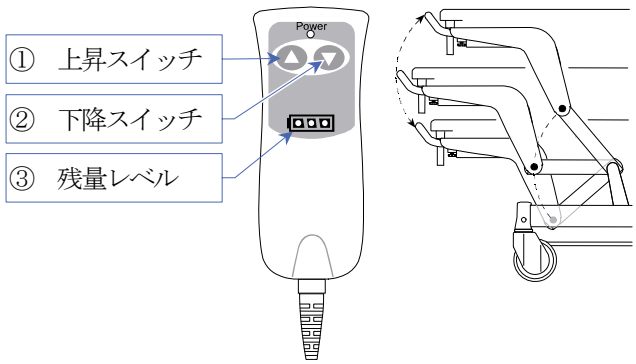
- 担架部を下降するときは、必ず担架部と床の間に人がいないことを確認してください。
- 人を挟むような狭い場所で担架部を上昇させないでください。

⚠注意

- 電動昇降する際は必ずブレーキペダルで四輪キャスタを固定した状態で行ってください。
- 上下昇降を連続して、2 分間以上行わないでください。連続して行った場合十分に休止時間をとってください。（2 分間連続稼働時、18 分間の休止が目安です。）

手順

1. 操作する前に、本器のまわりに昇降に必要な十分な空間があることを確認してください。
2. リモコンの残量マークが緑色に点灯していることを確認してください。
3. リモコンの上昇スイッチを押すと、ベッドが上昇していきます。
4. リモコンの下降スイッチを押すと、ベッドが下降していきます。



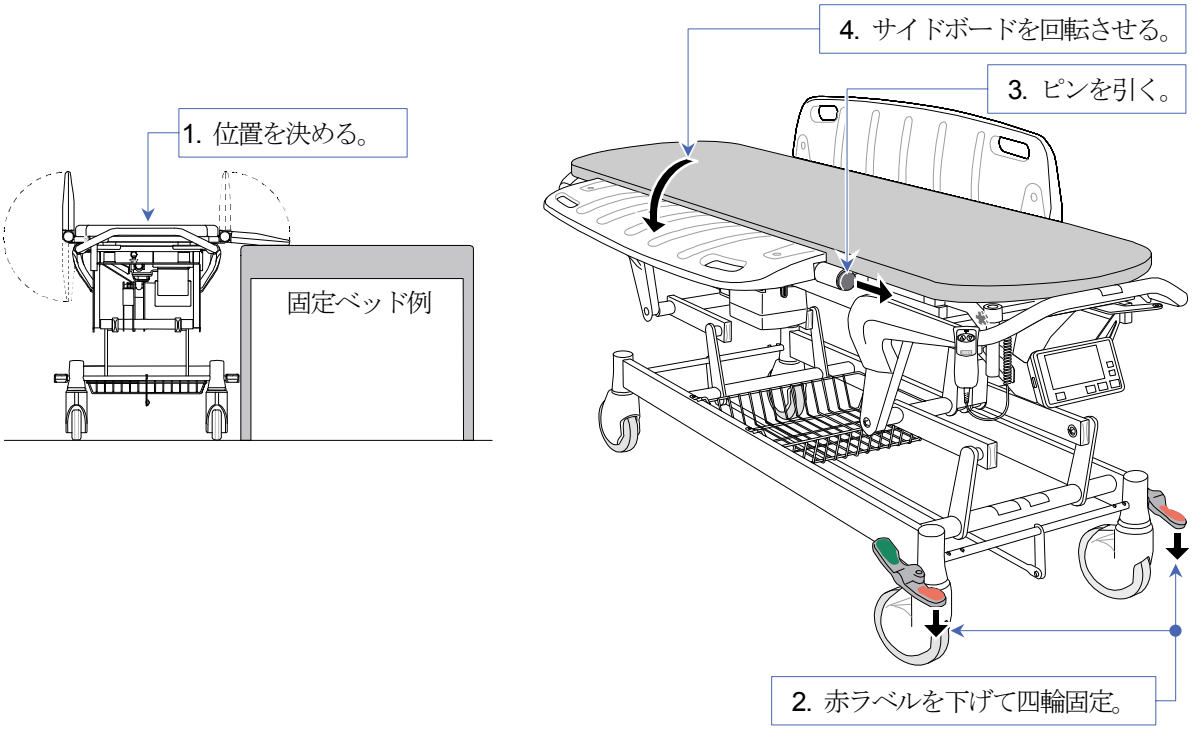
サイドボードの使い方

⚠警告	
	■ サイドボードに人がよりかかった状態では使用しないでください。

⚠注意	
	■ 必ずブレーキペダルで四輪すべてのキャスタを固定した状態で行ってください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順

1. 移乗するとき、サイドボードがベッドの上に十分入り込むよう位置を決めます。
2. ペダルの赤ラベルを下にして四輪すべてのキャスタを固定状態にます。
3. サイドボードを支えながらスライド式のピンを引き、サイドボードの固定を解除します。
4. サイドボードを外側に回転させ、ベッド(計量台)の上に乗せます。
5. 移乗後、サイドボードを立てます。



7.4. 始業前点検

⚠注意	
	■ 安全に正しく使用するため始業前点検は必ず行ってください。

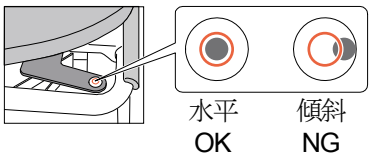
一日の最初に使用するとき、以下の始業前点検を行ってください。
始業前点検の詳細は、「10.3. **定期点検（始業前点検）**」を参照してください。

8. 操作方法

8.1. 設置と準備

⚠注意	
❗	■ 設置の際には、傾斜、振動、衝撃のない堅牢で水平で安定した場所に設置してください。 製品の設置不安定により、つまずき、けがをする恐れがあります。 ■ 本器は、ひょう量と本器の質量に十分耐えうる場所に設置してください。 ■ 専用接続ケーブルで本器と他の製品を接続しないでください。誤動作、故障の原因になります。
	■ 本器は重いため、本器を設置・移動するときに手や足をはさまないようにご注意ください。 ■ 本器は可動する部分があります。設置、移動時に手をはさまないように注意してください。

手順



1. 被測定者を移乗させる場所に本器を移動します。
2. 水平器の円(赤色)の中に気泡がくるよう位置に本器を設置します。
3. 安全のため、ペダルの赤ラベルを下げて四輪すべてのキャスタを固定状態にます。

8.2. 体重をはかる

⚠注意	
❗	■ ベッド(計量台)に飛び乗らないでください。けがや転倒する恐れがあります。

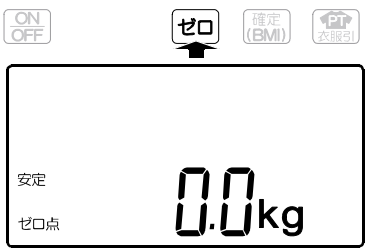
お知らせ
■ 表示固定は、計量値が一度安定すると、±3 kg の変動があるまで表示し続ける機能です。 計量値が 5 kg 以上の場合に適用されます。 ■ 計量値が 150.8 kg を超えると測定範囲外になり、E を表示します。

手順

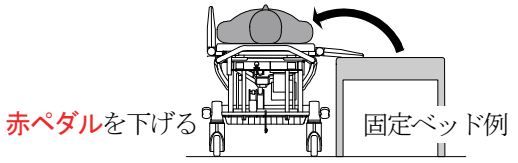
1. 「7.1. **電源の準備**」を確認してください。本器を「8.1. **設置と準備**」の要領で設置します。

2. ON/OFF スイッチを押して、
表示を全点灯させます(電源をオンします)。

3. ゼロ スイッチを押して、
0.0 kg 表示と「ゼロ点」と「安定」マークを表示させます。

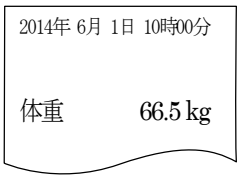


4. サイドボードを回転させ、本器のベット(計量台)に被測定者を移乗し、サイドボードを立てます。必要に応じて本器を昇降させます。



5. 体重の計量値が安定すると表示固定し、「安定」「表示固定」マーク
が点灯します。
表示例： 体重 66.5 kg。

6. オプションプリンタ AD-PR580 付きの場合、日時と体重が印字されます。



7. 続けて BMI を測定する場合は、「8.3. BMI 測定する」の手順 1. に進んでください。
終了する場合は、次の手順 8. へ進んでください。

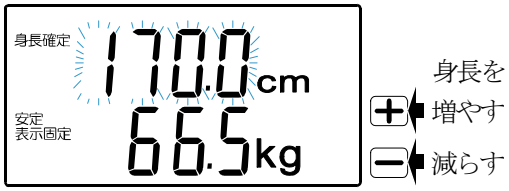
8. 使用後はベッドから静かに降り、何も乗せないでください。
ON/OFF スイッチを押して電源オフにします。

8.3. BMI を測定する

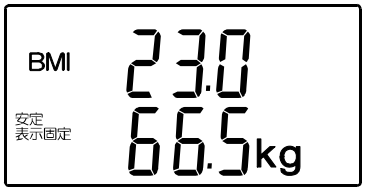
手順

1. 前ページの「8.2. 体重をはかる」の手順 7. に続き、
BMI を測定する場合は、BMI スイッチを押してください。

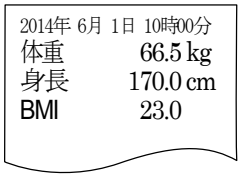
2. 身長が点滅表示されます。
＋ スイッチと － スイッチ押して被測定者の身長に
合わせてください。
表示例： 身長 170.0 cm。



3. 体重を計量して一定時間経過すると、身長が自動的に
決められて BMI が表示されます。
表示例： BMI 23.0。



4. オプションプリンタ AD-PR580 付きの場合、
日時　体重　身長　BMI が印字されます。



5. 使用後はベッドから静かに降り、何も乗せないでください。
ON/OFF スイッチを押して電源オフにします。

8.4. 衣服の質量を引いてはかる（プリセット風袋引き計量）

衣服の質量として 1.0 kg 引ひいてはかる

お知らせ
■ PT 衣服引 スイッチを長押しすると、設定された衣服引の量が一定時間確認できます。

手順

1. 「7.1. **電源の準備**」を確認してください。本器を「8.1. **設置・計量準備**」の要領で設置します。

2. ON/OFF スイッチを押して、表示を全点灯させます(電源をオンします)。
   ゼロ スイッチを押して、0.0 kg 表示と「**ゼロ点**」と「**安定**」マークを表示させます。

3. PT 衣服引 スイッチを押すと、PT と「**正味量**」マークが点灯し、
   初期の衣服の質量として引く(プリセット風袋値) 1.0 kg が差し引いれ、
   正味量 −1.0 kg が表示されます。
   正味量 ＝ 計量値 − プリセット風袋値
   表示例： −1.0 kg ＝ 0.0 kg − 1.0 kg

4. 被測定者がベット(計量台)に移乗すると、計量値から 1.0 kg
   を差し引いた正味量が表示されます。

   通常の計量に戻すには、ベット(計量台)になにも乗せないで
   PT 衣服引 スイッチまたは、ゼロ スイッチを押します。

衣服の質量を 0.1 kg 単位で変更してはかる

お知らせ

■ PT 衣服引 スイッチを長押しすると、設定された衣服引の量が一定時間確認できます。

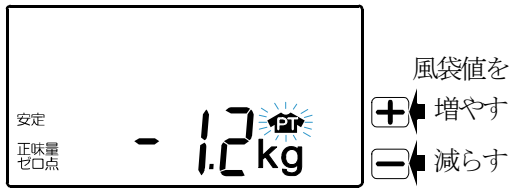
手順

1. 「7.1. **電源の準備**」を確認してください。本器を「8.1. **設置・計量準備**」の要領で設置します。

2. ON/OFF スイッチを押して、表示を全点灯させます。(電源をオンします)。
   ゼロ スイッチを押して、0.0 kg 表示と「ゼロ点」と「安定」マークを表示させます。

3. PT 衣服引 スイッチを押すと、PT と「正味量」マークが点灯し、初期の衣服の質量として引く(プリセット風袋値) 1.0 kg が差し引いれ、正味量 −1.0 kg が表示されます。

4. ＋ スイッチと − スイッチを押すと、衣服の質量として引く(プリセット風袋値)を 0.1 kg 単位で変更できます。変更中は PT マークが点滅します。
   表示例： 風袋値 1.2 kg。



5. 変更後一定時間経過すると、PT と「正味量」マークが点灯し、衣服の質量として引く(プリセット風袋値)が更新されます。
   正味量 ＝ 計量値 − 変更したプリセット風袋値
   表示例： −1.2 kg ＝ 0.0 kg − 1.2 kg

6. 被測定者がベット(計量台)に乗ると、計量値から変更した値を差し引いた正味量が表示されます。

   通常の計量に戻すには、ベット(計量台)になにも乗せないで PT 衣服引 スイッチまたは、ゼロ スイッチを押します。

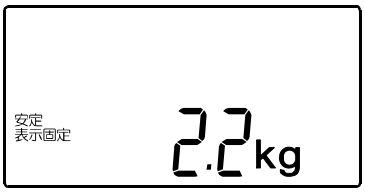
正確な衣服やシーツの質量を引ひいてはかる

手順

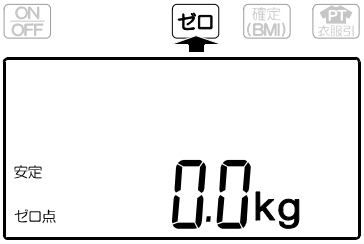
1. 「7.1. **電源の準備**」を確認してください。本器を「8.1. **設置・計量準備**」の要領で設置します。

2. ON/OFF スイッチを押して、表示を全点灯させます(電源をオンします)。

3. ベット(計量台)に着衣やシーツなどを載せます(風袋を載せます)。
   載せた質量が表示されます(風袋値が表示されます)。
   表示例： 風袋値 2.2 kg。



4. 表示が安定したら、**ゼロ** スイッチを押し表示を 0.0 kg 表示にします。
   - ベッドの上に載せた質量が 3.0 kg 以上のときは、**風袋引き** スイッチとして機能し、計量可能な範囲は風袋引きの質量分小さくなります。
   - ベッドの上に載せた質量が 3.0 kg 以下のときは、**ゼロ点** スイッチとして機能し、計量可能な範囲はひょう量と同じです。



5. 被測定者がベット(計量台)に乗ると、計量値から風袋引きの質量を差し引いた正味量が表示されます。

8.5. ファンクション設定

ファンクションの設定には、オートパワーオフ、表示固定、ブザー、通信設定が含まれます。
各項目の設定は、電源を切っても記憶されています。

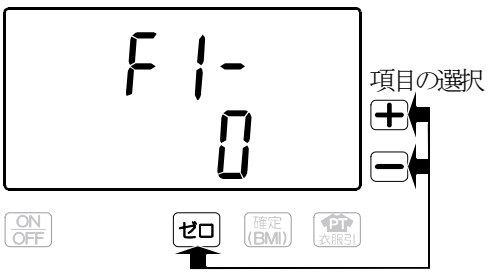
ファンクションの設定方法

手順

1. ON/OFF スイッチを押し、電源をオフします。

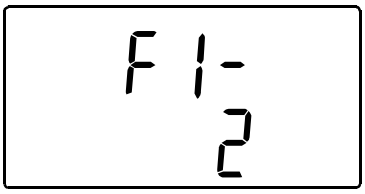
2. ゼロ点 スイッチを押し続けながら
ON/OFF スイッチを押すと、
ファンクションの設定に入り、F0 を表示します。

3. 次のスイッチで操作できます。
＋ スイッチと － スイッチ ..... 項目を選択できます。
ゼロ点 スイッチ ..... 項目の設定値を変更できます。

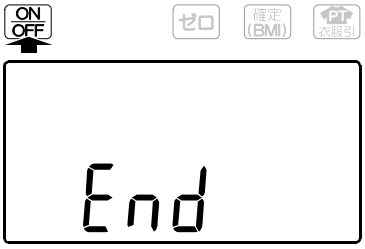


4. 手順3.を繰り返し必要な項目の設定値を変更します。

設定値の変更



5. ON/OFF スイッチを押すと、
新しい設定を記憶して End を表示し、設定完了になります。



ファンクション一覧

項目	内 容	設定値	説 明
F0	イニシャル	■ 0	無効
		1	実行
F1	オートパワーオフ	■ 0	無し
		1	5 分
		2	10 分
		3	15 分
		4	30 分
F2	表示固定	0	無し
		1	有り　時間解除
		■ 2	有り　変動量 ±3.0 kg で解除
		3	有り　1 + 2 の条件で解除
F3	ブザー音	0	無効
		■ 1	有効
F4		■ 0	未使用
F5	通信内容および、タイミング	0	オート出力モード A
		1	オート出力モード B
		2	オート出力モード C
		■ 3	オート出力モード D
		4	ストリームモード
		5	出力無し
F6	通信データフォーマット	0	標準フォーマット
		1	全自動血圧計用フォーマット
		■ 2	プリンタ用フォーマット
		3	未使用
		4	
		5	
		6	
		7	
		8	
F7	拡張端子 イニシャル	■ 0	無効
		1	実行
F8	拡張端子（ボーレート）	■ 0	2400 bps
		1	4800 bps
		2	9600 bps
F9	拡張端子（パリティ）	■ 0	EVEN
		1	ODD
		2	NONE
FA	拡張端子（終端）	■ 0	CR LF
		1	CR
		2	LF
Fb	拡張端子（データ長）	■ 0	7 ビット
		1	8 ビット

■　初期設定です。

CR　キャリッジリターン、0Dh

LF　ラインフィード、F0h

9. 通信機能（RS-232C インタフェース）

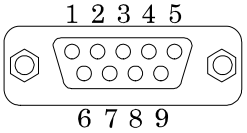
本器は、RS-232C クロスケーブルを用いて、外部プリンタ等と接続することができます。
通信スタイルの設定により、ストリームモード、オート出力モードが設定できます。
通信条件（ボーレート、データ長、パリティビット、ストップビット）を通信する機器と合わせてください。
通信スタイルと通信条件の設定方法は「8.5. **ファンクション設定**」を参照してください。

インタフェース仕様

入出力規格	EIA RS-232C 準拠	
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）	
信号形式	通信速度	2400、4800、9600 bps　選択可
	データビット長	7 ビット、8 ビット　選択可
	パリティ	無し(NONE)、偶数(EVEN)、奇数(ODD)　選択可
	ストップビット	1 ビット
	使用コード	ASCII

ピン接続

D-sub9 ピンコネクタ(オス)



ピン番号	信号名	信号方向	説 明
1	DCD　(CD)	←	本器では未接続
2	RXD　(RD)	←	受信データ
3	TXD　(SD)	→	送信データ
4	DTR　(ER)	→	本器では未接続
5	GND		信号線接地端子
6	DSR　(DR)	←	本器では未接続
7	RTS　(RS)	→	7 ピンと 8 ピンは内部で結線されています。
8	CTS　(CS)	←	
9	RI	←	本器では未接続

本器はパソコンに対して DTE になります。

通信内容およびタイミング

1. **ストリームモード**

約 10 回／秒で常時出力します。

2. **オート出力モード A、B、C**

体重表示が固定されるとデータが 1 回だけ出力されます。設定により、ID、日付･時刻が付きます。
通信データフォーマットは、設定内容に従い体重値を常に出力しますが、身長値・風袋値・BMI は動作状態に応じて出力されます。

項 目	出力データ内容
ストリームモード	体重値のみ
オート出力モード A	体重値 ＋ 風袋値 ＋ 身長値 ＋ BMI
オート出力モード B	ID ＋ 体重値 ＋ 風袋値 ＋ 身長値 ＋ BMI
オート出力モード C	日付･時刻 ＋ 体重値 ＋ 風袋値 ＋ 身長値 ＋ BMI
オート出力モード D（初期設定）	日付･時刻 ＋ ID ＋ 体重値 ＋ 風袋値 ＋ 身長値 ＋ BMI

通信データフォーマット

1. 標準フォーマット（ FG-0 ）

ASCII コード使用

バイト目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
体重（安定）	S	T	,	G	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
体重（安定）	S	T	,	N	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
風袋値	S	T	,	T	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
プリセット風袋値	S	T	,	P	T	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
身長	S	T	,	H	T	,	+	数	字	8桁						␣	c	m	CR	LF				
BMI	S	T	,	B	M	,	+	数	字	8桁						CR	LF							
体重（非安定）	U	S	,	G	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
体重（非安定）	U	S	,	N	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
過荷重	O	L	,	G	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
過荷重	O	L	,	N	␣	,	+	数	字	8桁						␣	k	g	CR	LF				
被測定者 ID	I	D	,	英	数	字	16	文字											CR	LF				
日時・時刻	T	M	,	2	0	年	2桁	／	月	2桁	／	日	2桁	,	時	2桁	:	分	2桁	:	秒	2桁	CR	LF

2. 全自動血圧計用（ FG-1 ）、プリンタ用フォーマット（ FG-2 ）

ASCII コード使用

バイト目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
体重（安定）	S	T	,	+/−	数	字	6桁				.	数字	␣	k	g	CR	LF							
体重（非安定）	U	S	,	+/−	数	字	6桁				.	数字	␣	k	g	CR	LF							
過荷重	O	L	,	+/−	9	9	9	9	9	9	.	9	␣	k	g	CR	LF							
風袋値	T	R	,	+	数	字	6桁				.	数字	␣	k	g	CR	LF							
プリセット風袋値	P	T	,	+	数	字	6桁				.	数字	␣	k	g	CR	LF							
身長	H	T	,	+	数	字	4桁		.	数字	␣	c	m	CR	LF									
BMI	B	M	,	+	数	字	3桁	.	数字	CR	LF													
被測定者 ID	I	D	,	英	数	字	16	文字											CR	LF				
日時・時刻	T	M	,	2	0	年	2桁	／	月	2桁	／	日	2桁	,	時	2桁	:	分	2桁	:	秒	2桁	CR	LF

記号説明

ST	安定ヘッダ	US	非安定ヘッダ	OL	計量範囲外ヘッダ
ID	被測定者 識別記号ヘッダ	TM	日時・時刻ヘッダ	+/−、+	符号
G␣	総量、Gross	N␣	正味量、Net	T␣	風袋値、Tare
PT	プリセット風袋値	HT	身長、Height	BM	Body Mass Index
␣	スペース(空白)、20h	CR	キャリッジリターン、0Dh	LF	ラインフィード、F0h

10. 保守

10.1. 保守点検と安全管理

本器が必要な時に十分機能を活用できるめ且つ、被測定者ならびに操作者の安全を確保するために、本器を保守管理しなければなりません。「始業前点検」などの日常管理については操作者によってなされることが原則となります。
本器の保守管理は、本器の性能および安全性、有効性を維持するために必要です。
弊社では、1年に1回以上の定期点検をお勧め致します。

10.2. 清掃

⚠注意	
❗	■ 清掃を行う際は、電源ケーブルをコンセントから外してください。感電の恐れがあります。
⃠	■ 本器に水をかけたり、水につけての清掃は絶対行わないでください。 ■ 本器の殺菌に際してオートクレーブ、ガス滅菌（EOG、ホルムアルデヒドガス、高濃度オゾンなど）を使用しないでください。 ■ シンナー、ベンジンなどの溶剤を用いて清掃しないでください。

本器の清掃は病院の定めた方針や手順をもとに、1ヶ月に1回程度、以下のように行ってください。

- 外装の汚れは、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 血液、薬剤、汚物などが付着したときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で清拭し、除去してください。

10.3. 定期点検（始業前点検）

本器を正しくお使い頂くために、定期点検を実施してください。定期点検の主な内容は以下の通りです。
定期点検については、弊社にお問合せください。

電源投入前

電源投入前に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

項目	内 容
外観	■ 変形や破損はないか。落下等による変形、破損がないか。 ■ 各部に汚れ、サビ、キズ等はないか。 ■ パネル類に割れやガタつき等はないか。 ■ 結露や水濡れはしていないか。 ■ 可動部に破損はみられないか。
操作部	■ スイッチ類に破損やガタつき等はないか。
表示部	■ 画面の汚れ、キズ、ガタつきがないか。
測定部	■ ベット(計量台)のガタつき、固定異常がないか。
本体、 ケーブル類	■ がたつき、破損などはないか。 ■ キャスタの可動・固定が正常に操作できるか。 ■ 接続ケーブルの上に重いもの、車イス、本体等が載っていないか。 ■ 接続ケーブルが破損していないか。 ■ 本体のコネクタに確実に挿入されているか。
設置・計量準備	■ 「8.1. **設置・計量準備**」を参照してください。

電源投入後

電源投入後に下記点検を行い問題がないことを確認してご使用ください。

■ 機器に異常がある場合は、点検を弊社 ME 機器相談センタまたは、最寄りの弊社営業所にお問合せください。

項目	内 容
外観	■ けむりが出たり、変なにおいはないか。 ■ 異常な音が聞こえないか。
操作部	■ スイッチ、ボタン類の動作を確認し異常がないか。
表示部	■ 表示器の、マーク、数字等の表示欠けがないか。
測定部	■ 実測し、体重値および測定動作に異常はないか。
電源部	■ 電源電圧を確認し異常がないか。
データ処理	■ プリンタ・パソコン等へ接続した場合、正常に通信可能か、データに異常はないか。
スイッチ・ボタン	■ スイッチ類の動作は正常か。
リモコン	■ リモコンの上昇スイッチ・下降スイッチを押すとベッド全体がスムーズに上下するか。

10.4. 廃棄

本器の廃棄およびリサイクルについては、環境保護のため地方自治体の指導に従って処理してください。

品名	構成品	原材料
パッケージ	箱	段ボール
	緩衝材	段ボール、発泡スチロール
	袋	ビニール
本体	表示器筐体	ABS樹脂
	内部部品	一般部品
	ベース	アルミ
	基板上の電池（バックアップ用）	リチウム電池
	鉛バッテリー	「廃プラスチック類(ケース)」、 「金属くず(極板、端子等)」及び、 「特別管理産業廃棄物である配酸」の混合物

10.5. 修理を依頼される前に

測定条件や機器の異常を検出した場合やエラーコードが表示された場合は、修理を依頼される前に下記のチェック表に該当する現象がないかお確かめください。
これらの対処にもかかわらず、現象が再現する或いは、改善されない場合は、弊社ME機器相談センタにお問合せください。

現象	確認内容
ON/OFF スイッチを押しても、何も表示しない。	■ 電源は正しく接続されていますか? ■ バッテリーが正しく入っていますか? ■ バッテリーが消耗していませんか?
- - - - を表示したまま変わらない。	■ 電源を入れるとき、ベット(計量台)の上に何かのっていませんか? 約 15 kg 以上のものをのせて電源をいれると表示されます。 載っているものを降ろしてください。
体重が正しくはかれない。	■ 本器に壁やコードなどが接触していませんか? ■ 水平に設置されていますか?
ケーブル確認 と表示される。	■ 表示器とベット(計量台)を接続する専用接続ケーブルが抜けていませんか? ■ 表示器とベット(計量台)を接続する専用接続ケーブルが断線していませんか?
測定範囲外 と表示される。	■ ベット(計量台)に 150.8 kg を超えたものが乗っているか、電源投入時にベット(計量台)に乗っているものを降ろしたとき表示されます。故障ではありません。
が点滅している。	■ バッテリーが消耗しています。バッテリーの充電や交換をしてください。

以下のように「Ｅｒｒ番号」と出るときは、故障の可能性が高いです。弊社ME機器相談センターに「Ｅｒｒ番号」も添えてお問い合わせください。

Ｅｒｒ番号例

⚠警告	
⃠	■ 本器の分解、および改造はしないでください。けが、火災、感電の原因となります。

11. アクセサリ・オプションリスト

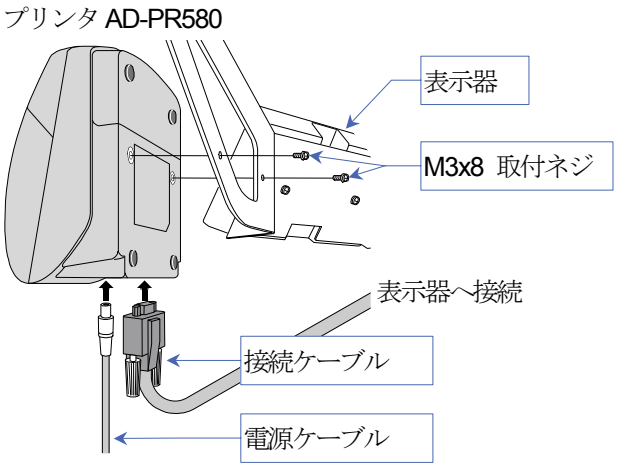
品名　内容		型名（オーダー名）
酸素ボンベ金具	AD6055 用	AD6055-01
バッテリー	AD6055 用	AD6055-02
リモコン	AD6055 用	AD6055-03
医療用体重計専用プリンタ		AD-PR580-003
プリンタ AD-PR580 用ロール紙		AX-PP147-S
ガートル棒		AD6101-01

11.1. オプションの取り付け

オプションプリンタ AD-PR580 の取り付け

手順

1. 以下が揃っていることを確認します。
   プリンタ AD-PR580 ..... 1 個
   接続ケーブル ..... 1 本
   M3x8 取付ネジ ..... 2 個
2. 表示器横の取付位置にプリンタを M3 ネジで取り付けます。（向きに注意）
3. 本器から出ている電源ケーブルとつなぎ、表示器の拡張端子とプリンタを接続ケーブルで接続します。
4. ご使用になるときは、先に製品の電源を入れてから、ON/OFF スイッチを 3 秒以上押してください。



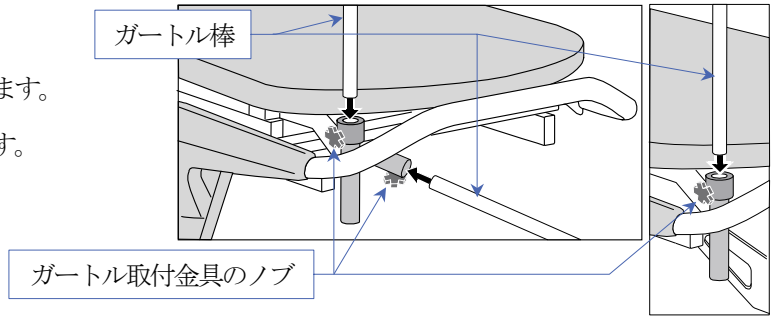
AD6101-01 ガートル棒の取り付け

⚠注意

■ ガートル棒の取り付け時、収納時に、ガートル棒のノブがしっかり固定されていることを確認してください。けがや事故の原因になります。

手順

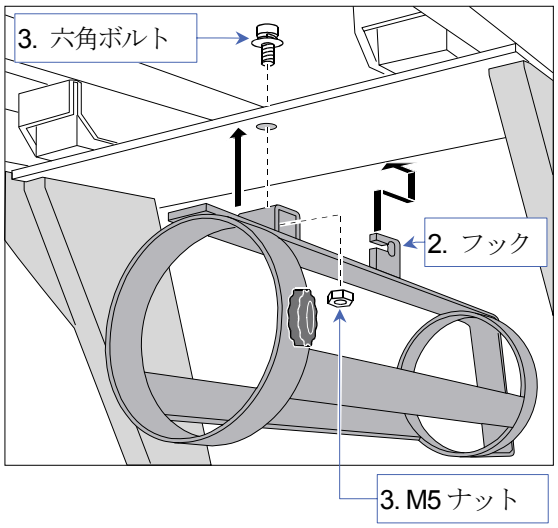
1. ガートル棒差し込み穴にガートル棒を差します。
2. ガートル取付金具のノブを締めて固定します。



AD6055-01　酸素ボンベ金具の取り付け

手順

1. 以下の金具類が揃っていることを確認します。
   酸素ボンベ取付金具 …… 1 個
   六角ボルト M5x20　スプリングワッシャ
   平ワッシャ付き …… 1 個
   M5 ナット …… 1 個
2. 酸素ボンベ取付金具のフックを担架部下のボンベ取付け位置に合わせます。
3. 六角ボルト M6x20 と M5 ナットでしっかりと担架部に酸素ボンベ取付け金具を固定します。



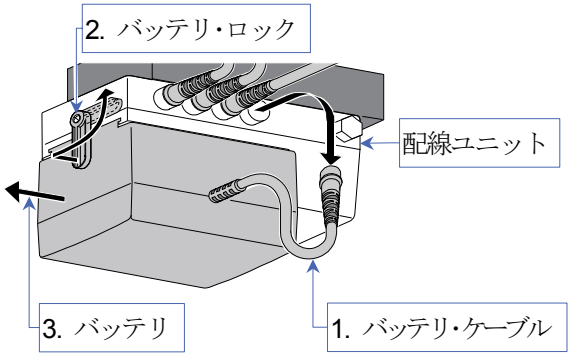
AD6055-02 バッテリーの交換

⚠注意

- 通常にご使用されているときは、決してバッテリをはずさないでください。
- 使用済バッテリの廃棄は環境保護のための地方自治体の指揮に従って処理してください。

手順

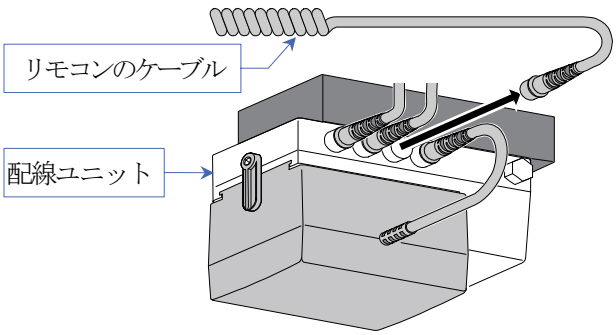
1. 電源ケーブルを外します。
   バッテリ・ケーブルを配線ユニットから外します。
2. バッテリ・ロックのネジを緩めて、「引いて」・「回して」、固定を解除します。
3. 約 3 kg のバッテリをスライドさせると外れますます。



AD6055-03 リモコンの交換

手順

1. リモコンのケーブルを配線ユニットから外します。
2. 新しいリモコンを接続します。



12. 地域別重力加速度一覧

本製品は、重力加速度の大きさの範囲を下表のように分類しています。
2 箇所に記載されている県は、どちらの重力加速度の範囲でも使用できます。
たとえば、愛知県の場合「9.796 ～ 9.800 m/s^2」または「9.794 ～ 9.798 m/s^2」が使用できます。

使用地域の表記 重力加速度の範囲	区分	使用地域（都道府県）
9.807 ～ 9.803 m/s^2	1	北海道
9.804 ～ 9.800 m/s^2	2	青森県、岩手県、宮城県、秋田県
9.802 ～ 9.798 m/s^2	3	宮城県、山形県、福島県、茨城県、新潟県
9.800 ～ 9.796 m/s^2	4	栃木県、千葉県、神奈川県、山梨県、群馬県、埼玉県、 東京都（八丈、小笠原支庁を除く）、福井県、富山県、石川県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、京都府、兵庫県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、島根県、
9.798 ～ 9.794 m/s^2	5	長野県、東京都（全域）、神奈川県、山梨県、静岡県、岐阜県、愛知県、三重県、大阪府、和歌山県、奈良県、滋賀県、山口県、広島県、岡山県、鳥取県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県、長崎県、福岡県、佐賀県、熊本県、宮崎県、大分県、鹿児島県（薩摩地方に限る）
9.794 ～ 9.790 m/s^2	6	鹿児島県（薩摩地方を除く）
9.792 ～ 9.789 m/s^2	7	沖縄県

13. アフターサービス・保証

本製品、付属品およびオプション品は日本国内での使用を目的とし、保証は日本国内のみ有効といたします。

13.1. 保証期間

取扱説明書、ラベルの注意事項にしたがった正常な使用状態で、保証期間は下記のとおりです。
本体 ご購入日より１年

13.2. 免責事項

下記の記載内容については、当社では責任を負いかねますのでご了承ください。

- 当社、または当社が指定した業者以外による保守、および修理に基づく故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている安全上の注意や操作方法を守らなかった結果による故障・損傷。
- この取扱説明書に記載されている電源、設置、保管環境など製品の使用条件を逸脱した周囲条件による故障・損傷。
- 適切な保守点検を怠っての使用による故障・損傷。
- 本体以外の付属品、消耗品の故障、交換。
- 当社が納入した製品以外の他社製品が原因で当社製品が受けた故障・損傷。
- 製品を改造あるいは、不当な修理をされた結果に基づく故障・損傷。
- 転倒、操作上のミスなど使用者の責任とみなされるもの。
- 火災、地震、水害、落雷など天災による故障・損傷。

13.3. 製品に関するご質問・ご相談窓口

裏表紙に記載してある相談窓口にお申し付けください。